むつざわ

議会だより

第 132 号
平成24年5月15日発行

平成 24 年度各会計予算
概　　要…… 2～3
総括質疑・委員長報告・討論 …… 4～7
こんなことが決まりました …… 8～11
条例の制定・改正など
一 般 質 問 …… 12～15
町の歴史・文化財紹介 …… 16
（むつざわまちの関東大震災）

私達も防災訓練やってます（こども園）

3月定例会

平成24年度予算　一般会計外5特別会計を可決

災害・防災対策、若者定住促進対策　地籍調査事業に着手

平成24年第1回定例会は、3月6日から13日までの8日間を会期として開催されました。

平成24年度の一般会計外5特別会計予算は、総括質疑を行った後、議員全員による特別委員会を設置し、審査を行いました。

提出された27議案を質疑の後、可決しました。

4議員が一般質問を行い町政を問いました。

予算編成方針

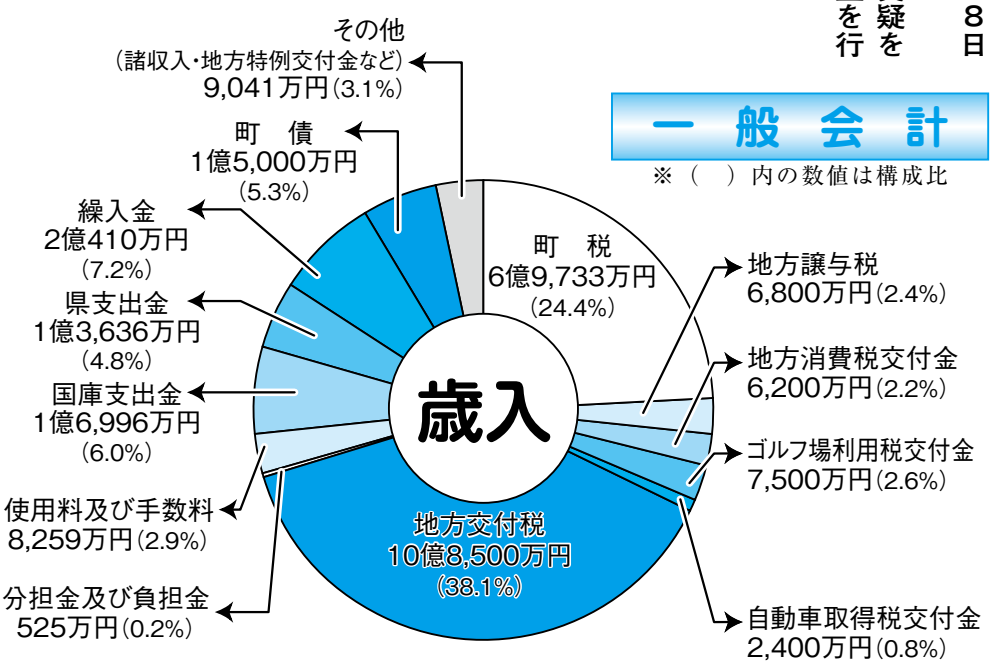
景気が一部持ち直しの動きが見られた矢先に、東日本大震災、原発事故、円高や世界的な金融市場の動揺など過去に経験したことのない多くの困難に直面しています。

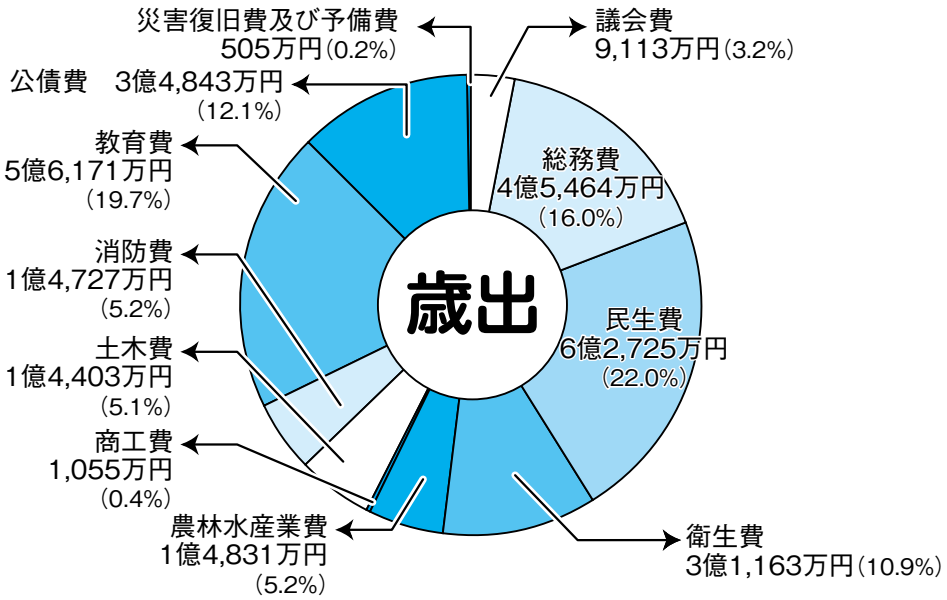
本予算は、災害・防災対策、危機管理対策、若者定住促進対策、健康・福祉および子育て支援の充実、環境保全型農業の促進とブランド化の促進、地籍調査事業など必要性を十分検討して編成しました。

28億5,000万円でスタート

一般会計

※（　）内の数値は構成比





一般会計歳出の主な内容

総務費
防災行政無線のシステム改修、主要避難所設備改修、自主防災組織の立ち上げ、若者定住促進、町PRのガイドブック作成、県知事、町長、農業委員選挙費用など。

民生費
福祉交流センター指定管理業務委託料、福祉交流センター屋根改修工事、町社会福祉協議会活動費補助金など。

衛生費
心の健康づくり事業、予防接種や各種検診、不妊治療や乳幼児の幼児保育助成、合併浄化槽設置・転換補助金・管理委託料など。

農林水産費
圃場整備助成、農産物加工商品開発、道の駅施設改修費用、農地・水保全管理支払交付金事業支援負担金など。

商工費
町商工会振興補助金、観光協会補助金、地域環境整備作業賃金など。

土木費
河須ヶ谷地区道路改良工事、地籍調査業務準備費用、道路改良、道路維持・舗装補修工事費など。

消防費
常備・非常備消防負担金、防災倉庫の設置工事、防災用備品購入費用など。

教育費
土睦小学校エレベーター等の設置工事、小・中・こども園文教施設整備工事、公民館等社会教育施設の改修費、スポーツクラブ業務委託料など。

公債費
町債の元利償還金

改善センター駐車場内

特別会計

国民健康保険特別会計
10億2,914万円

後期高齢者支援金、介護納付金、特定健康診査、特定保健指導および人間ドック助成、心の健康づくり事業経費など。

農業集落排水事業特別会計
7,869万円

久保・北部両地区処理施設管理費、特定地域生活排水処理事業の管理費及び新規浄化槽設置工事費など。

介護保険特別会計
6億5,427万円

居宅・施設介護サービス給付金、居宅介護福祉用具購入費、居宅介護住宅改修費、居宅介護サービス計画費、特定入居者介護サービス費、地域密着型介護サービス給付費、地域包括センターでの総合相談等の経費など。

かずさ有機センター特別会計
2,000万円

ふん尿処理、もみ殻回収及び施設の維持管理費など。

後期高齢者医療特別会計
7,520万円

保険料徴収経費、後期高齢者広域連合納付金、人間ドック補助金など。

一般会計

総務

市原重光議員　重点課題のはずの地籍調査だが、25万7千円しか予算化されていない。

この事業は、総額の5％の町負担でできる。境界問題など争い事もなくなる効果がある。

郡内でも採択になった町もある。後手に回っているのでは。

企画財政担当主幹　現在、事業計画書を作成・発注してます。また、電子データ、地図、説明会用のパンフレットの作成を行っています。

24年度は、県への申請、区長会説明、実務者研修に向けて準備を進めています。平成25年から12年間の事業実施予定です。

総事業費13億円のうち、町負担は1億5千万円程度です。

議員　専門知識のある職員体制が必要では。

副町長　郡内先進2町を参考に事務体制に万全を尽くします。

市原時夫議員　後期基本計画の策定の委託などは削減し自前で作るべきではないか。内容も、合併など破綻したものは削除すべきでは。住民参加を広げることなど予算化すべきでは。

企画財政担当主幹　後期基本計画の委託はアンケート調査などの作業業務です。合併問題は作成の中で意見を聞きます。

今関澄男議員　町PRガイドブックの有効活用の方法は。

企画財政担当主幹　町外への活用が低いので今後検討します。

財政

今関澄男議員　町の財政状況を知るバランスシート、資金収支決算書、純資産変動決算書はどうなっているか。

企画財政担当主幹　公会計制度は現在22年度決算について作成中で、出来次第公表させていただきます。

幸治孝明議員　固定資産税の減少傾向の中、交付税の見通しと若者定住などの位置づけは。

企画財政担当主幹　交付税の単位費用が毎年変更され不確定部分があります。

若者定住等は、先行投資で、その後の税収の確保にもつなげる計画です。

田邉明佳議員　個人住民税の減収の理由は。

税務住民課長　景気悪化による収入減です。

荻野新衛議員　行政改革の内容が見えてこない。みんなで考える組織をしっかりつくるべきでは。

町長　議員の主張にぴったりとは行きませんが、理想に近づけていきます。

地域振興

岡澤宏一議員　郡内自治体では、委託事業を起こし緊急雇用創出を進めている。本町ではどうなっているか。

地域振興課長　活用する人を模索しています。

議員　環境保全型農業推進としてのブランド化、商品開発はどうなったか。

課長　付加価値をつけた商品開発などへの助成を進めています。

田邉明佳議員　若者定住促進対策だが、仕事がないと定住できないと思うが対応は。

地域振興課長　国の緊急雇用創出事業予算が本年度は、震災等による離職を余儀なくされた方々を優先しているために、町としては、町単独費用での地域環境整備作業賃金として計上しました。

荻野新衛議員　若者定住促進事業は、新築だけでなく中古などにも支援制度を広げるべきでは。また、実施にスピードが必要では。

町長　税の有効活用の視点から検討します。

今関澄男議員　農地水保全管理については、町は今後も独自の支援を続けていくか。

地域振興課長　国の支援が減少するようです。一方、23年度から新たな支援事業ができましたので、導入し実施しています。

幸治孝明議員　圏央道の見通しは。

地域振興課長　東金・茂原間、茂原・木更津インター間は、平成24年度を開通目標にしています。

長者住宅団地

いちご直売所

総括質疑

荻野新衛議員　農業就労者の高齢化への対策がないのでは。

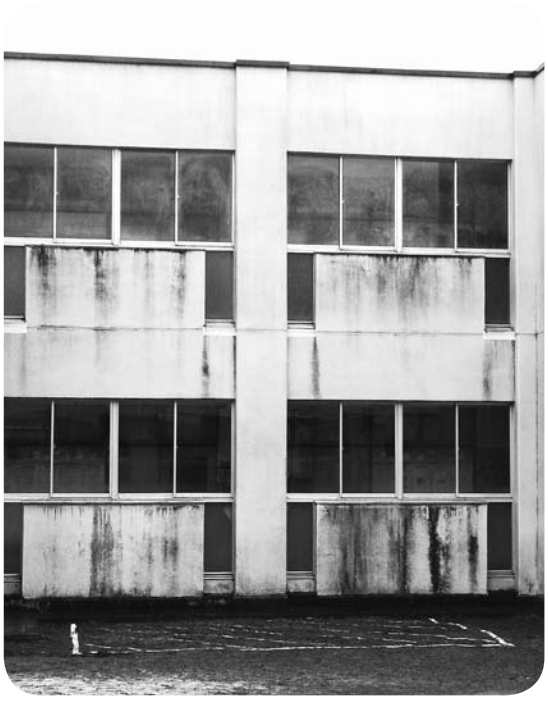
地域振興課長　24年度中には新たな事業の策定を検討します。

市原裕一議員　道の駅への投資はあるが、寺崎の直売所には何ら手当をしていないのでは。不公平ではないか。事業計画を出した場合の補助も検討すべきでは。

地域振興課長　つどいの郷は、国土交通省から承認をもらっての道の駅としての施設です。寺崎など個人で経営している直売所についても個々の備品等助成をしており、不公平に見ている訳ではありません。補助は今後検討課題とさせて頂きます。

田中憲一議員　予算の分類だが、他町村との比較からも、商工費に入れるべきものは入れて欲しいが。

町長　しかるべき対応をします。



エレベーター設置予定か所（土睦小学校）

新設された道の駅案内板

教育

幸治孝明議員　土睦小学校エレベーター設置の内容は。

教育長　学校施設のバリアフリー化という法律改正や障害者基本計画の中で求められていますが、具体的な必要が生じたことによる設置です。

市原裕一議員　土睦小学校のエレベーター利用はどのような場合か。

教育長　2階には、音楽室、図書室、特別教室、コンピューター室などがあり利用します。

田邉明佳議員　こども手当の未申請への対応は。

健康福祉課長　電話でのお知らせも行い、2月中にすべての支給が終わりました。

議員　瑞沢小学校の卒業証書授与式の案内に出欠確認のはがきがなかった。

連絡したら出席いただかなくて結構と断られた。非常識だ。

課長にも相談したというが、議員への侮辱、議会への侮辱だ。議員になってから住民から聞く話は学校の批判が多い。

教育委員会の指導はどうなっているか。この際、教員・教育現場を一新すべきだ、そうすることによって私の名誉も住民の信頼感も回復する。

社会教育を町部局に移すべきではないか。

教育長　大変申し訳ございません。心からおわび申し上げます。担当者・校長を呼び十分指導します。

市原時夫議員　子育て支援の町の特色をもっと全面に出すべきでは。

図書室を子育て重視の特色ある図書館にすべきでは。学校図書への司書配置もすべきでは。

町長　予算編成の基本はふれていないつもりです。

教育長　町図書室の利用形態など検討します。

平成24年度予算審査特別委員会審査結果報告

委員長　市原重光

委員の構成

議員全員による特別委員会

委員長　市原重光
副委員長　市原時夫
副委員長　幸治正雄
副委員長　岡澤宏一

審査の結果

慎重審査の結果、平成24年度睦沢町一般会計予算外5特別会計予算は、それぞれ原案の通り可決することに決定しました。

指摘要望事項

一、東日本大震災・原発事故発生以降、大きな経済変化により、町税の確保が厳しくなる見込みから、効率的・効果的な行政運営を図るよう、さらなる努力をされたい。

一、定住促進事業は一定の方向性は示されたが、総合的・長期的視野に立ち、促進の充実に向け努力されたい。

一、こども園・各学校及び地域の防災は、さらなる総合的な安全対策を充実させ、迅速に安全な町づくりをするよう努力されたい。

総括質疑

国保特別会計

市原時夫議員　町は適正な税率で、安心で安定的な対応をしていくといっている。しかし将来、特に社会保障制度などの不安がある中で安心というならば住民の負担軽減で臨むべきでは。

町長　執行する側からすると、適正な税率で、安心で安定的な対応をしてまいりたいという表現です。

議員　住民の立場・目線で見た場合、現在の医療制度・福祉制度に安心しているといえるのか。

町長　そのように思います。

町内介護施設

農集排特別会計

幸治正雄議員　23年度決算時に指摘要望事項としてコミュニティ・プラントを盛り込んだが、新年度予算でなぜ盛り込まれていないのか。

生活環境担当主幹　コミュニティ・プラントについては一般会計で補修費を計上していますので、特別会計に移行するのは時期尚早と思っています。

介護保険特別会計

市原時夫議員　基準額で700円の値上げだが、値上げはもっと押さえられたのでは。

健康福祉課長　基金関係は平成20年まで750万円の拠出となっています。県全体の中では3分の2の取り崩しとなり、そのうち3分の1が町に交付金として返ってきます。こういった財源を見込んで保険料を抑える形となりました。

議員　介護職員の処遇・待遇改善の町負担が増え、保険料がさらに上がると言っていたがどうなのか。

健康福祉課長　処遇改善の問題は国での負担は打ち切りとなり、介護報酬の中で見ていくという形になります。

今関澄男議員　保険給付費の居宅介護の関係は増額、施設介護等については減額だが、待機者が多い現状でどうしてなのか。

健康福祉課長　減額となっていますが、計画の中で申し上げますと一番ピーク時とほぼ同数で、利用される方は昨年当初と同じような形で見込んでいます。

かずさ有機センター特別会計

市原時夫議員　営農活動交付金による堆肥売上収入は見込めなくなったが、売り払いに対して一宮町との話し合いや見込みはどうなっているのか。

地域振興課長　堆肥売り払いについては、睦沢町・一宮町の牛の頭数に見合った案分でお互い努力しようという話になりました。

幸治孝明議員　一宮町と睦沢町の負担割合は。

地域振興課長　費用の50％は半分ずつで、残りを牛の頭数を基準に両町の負担割合を定めています。

後期高齢者医療特別会計

市原時夫議員　保険料の限度額5万円引き上げの根拠は。

健康福祉課長　国から示されたもので、それを基に県の広域連合で試算をしています。

討論

一般会計

反対討論

市原時夫議員

各特別会計予算も含めて住民へのさらなる増税が課せられる、まさに生活破壊が進む予算といわざるを得ません。

後期基本計画の業務委託のあり方は根本から見直し、効果的な支出を目指すべきであり総合的な立場から反対です。

賛成討論

田中憲一議員

災害防災対策、危機管理対策、若者定住促進対策、健康福祉及び子育て支援の充実、環境保全型農業の推進とブランド化の促進、地籍事業調査への取り組み等的確な編成であり、評価し賛成です。

反対討論

田邉明佳議員

予算は、1年間の町民生活に直結する問題です。審議の中で指摘されたことでよいものであったら、すぐ修正する柔軟性も必要と思います。なんでも原案を通す態度は納得のいく町政とは思えません。町民要望に沿った行政を進めることを求め反対です。

賛成討論

今関澄男議員

財政が厳しい中、福祉サービスや各種検診等の充実。

地域の手で農地や地域環境を守ることへの支援。地籍調査事業は、まちづくりに向けての取り組みと評価し賛成です。

反対討論

荻野新衛議員

若者定住対策への総合的な観点がなければならない。耕作放棄地の解消等がなされていないし、農業の高齢化への視点がないので反対です。

国保特別会計

反対討論

市原時夫議員

国保税の引き下げなど、町民の負担軽減を行い、住民が安心して暮らしていける、そういう国保会計を求める立場から反対です。

賛成討論

今関澄男議員

厳しい財政運営の中で、特定健診、特定保健指導を積極的に行い、対象年齢も法定の40歳以上を30歳以上に拡大したことや人間ドックに脳ドックを追加するなど、これからの高齢化に伴う給付費の急激な増大や急を要する事態にも対応できる財政確保等を勘案して健全な予算であると判断し賛成です。

介護保険特別会計

反対討論

市原時夫議員

65歳以上の方へ月700円もの負担増がなされようとしています。誰もが安心して老後が送れるようにするためには、町独自の負担軽減対策を検討すべきであるという立場を踏まえて反対です。

賛成討論

幸治正雄議員

昨年度に引き続き、転倒予防教室、閉じこもり予防事業、健康体操教室、地区健康教室、平成23年度から実施している認知症のためのいきいき脳の健康教室の期間が10か月に延びるなど賛成です。

健康教室

後期高齢者医療特別会計

反対討論

市原時夫議員

年齢で差別されることのない姿勢を後期高齢者医療会計でも示していただきたいという思いから反対です。

賛成討論

岡澤宏一議員

新たに脳ドック補助も計上されています。現状では高齢者が安心して医療を受けるためにはなくてはならない制度であり賛成です。

こんなことが決まりました

条例の制定・改正など

（議案第1号）

睦沢町暴力団排除条例

暴力団の排除を推進し、町民の生活及び事業活動の健全な発展に寄与するためのものです。

（議案第2号）

睦沢町印鑑条例の一部を改正する条例

外国人住民が氏名の片仮名表記またはその一部を組み合わせたもので表されている印鑑により登録を受けようとする場合には、当該印鑑を登録することができるための改正です。

質　疑

市原時夫議員　該当する各国の言葉を全部片仮名に変えなくてはならないのか。

税務住民課長　片仮名表記ということになっております。

今関澄男議員　適用される外国人の見通しは。

税務住民課長　36名の方が外国人として登録されています。

印鑑登録証

（議案第3号）

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定

職員の年次有給休暇を年次休暇に改め、1月から12月までの暦年管理から年度管理にするものです。

質　疑

市原時夫議員　全国的に変えるということか。

総務課長　国、県よりも若干遅れましたが、全国的な措置です。

（議案第4号）

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

産業医の報酬を、平成24年度から1か月につき2万円を支給する。また、町税等徴収補助員の報酬を1か月につき5千円増額するものです。

質　疑

市原時夫議員　産業医は睦沢町だけがやっていなかったのか。

総務課長　睦沢町始め郡内町村の足並みをそろえるということです。

議員　職務から相当の権限を持つことになると思うが、職員との関係とその日程は。

総務課長　年1、2回の健康講話と、問題があった場合は即相談できる体制を整えていきます。

（議案第5号）

町長等の給料の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定

町長等の給料を平成24年4月1日から平成25年2月23日までの1年間、町長10％、副町長10％、教育長5％の率で減額するものです。

質　疑

荻野新衛議員　教育長分の削減率を5％から7％にできないか。特別職等報酬審議会にかけていると思うが同様な答申が出ているのか。本給をカットするなら期末手当にも反映できないのか。

副町長　教育長分の削減については考えていません。期末手当については、近隣市町村並みということでご理解をいただきたいと思います。

総務課長　報酬審議会では、引き下げる必要はないとの意見も出されました。

議員　特別職と一般職の給料の逆転があってもいいのではないか。

副町長　慣例に従って実施させていただきたいということです。期末手当についても、今までの例に従って行なわせていただきたいということです。

町産業医　大川医師

（議案第6号）

一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

平成24年4月1日から起算して、1年を経過するごとに減額基準額を加えた額を減じた額に改めるものです。

質　疑

市原時夫議員　段階的引き下げは、睦沢町だけか。

総務課長　千葉県に合わせて行うものです。郡内町村、ほぼ同様です。

防災無線制御卓

（議案第7号）

睦沢町税条例の一部を改正する条例の制定

国の法律改正に伴い、たばこ税、町民税の引き上げが主なものです。

質　疑

市原時夫議員　震災復興だからと町民税の均等割を引き上げるのはおかしい。全体でいくらになるのか。

税務住民課長　220万円くらいで、町の防災無線のデジタル化などに充てます。

田邉明佳議員　ユニセフへの寄附は、住民税の寄附控除対象にすべきでは。

税務住民課長　ユニセフについては控除に入れることはできます。NPO法人へは対応しておりません。

（議案第8号）

睦沢町公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

公民館に関する関係法令の改正に基づき字句の整備をするものです。

質　疑

市原時夫議員　実体的には変わらないということか。運営上の中身についての検討はされたか。

生涯学習担当主幹　社会教育法に基づき検討しました。見やすいように箇条書にしました。

（議案第9号）

睦沢町重度心身障害者（児）の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定

障害者自立支援法に基づく自己負担額上限月額の経過的特例期間を延長するものです。

（議案第10号）

睦沢町介護保険条例の一部を改正する条例の制定

第5期介護保険事業計画に基づく介護保険料の改定で、各種制度改正に伴い、保険料の基準額を月額4千400円とするものです。

質　疑

市原時夫議員　計画自体が委託に頼ったものだ。自主的な検討が本当になされたのか。値上げを縮減できたのではないか。

健康福祉課長　過去のデータに基づき試算した結果です。

中央公民館

（議案第11号）

睦沢町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定

町営住宅についての条例の入所基準を政令から条例で定めることなどです。

（議案第12号）

千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議

補正予算・その他

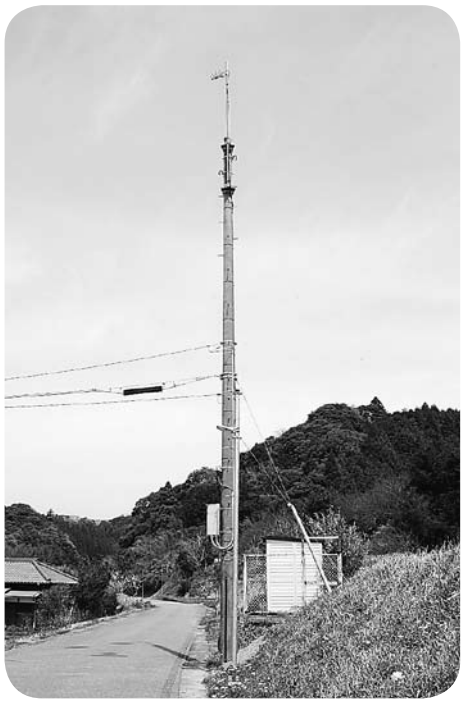
（議案第13号）

平成23年度睦沢町一般会計補正予算（第5号）

4千277万7千円を減額し、補正後の予算額は33億6千769万2千円となりました。

歳入では、普通地方交付税、町分譲地の売り払い、ふるさと納税による追加、子供手当の制度改正に伴う減額、財政調整のため財政調整基金からの繰入減額です。

歳出では、総務費で防災行政無線制御卓更新工事、財政調整基金への追加です。



地デジ送信アンテナ

消防費で広域市町村圏非消防費負担金の追加で、消防車両にトランシーバー搭載のためです。

質疑

市原時夫議員　徴税費の償還金とは。

税務住民課長　土地と家屋の固定資産税の誤りがありました。

議員　誤りを先に説明すべきでは。

町長　今後十分に留意し臨みます。

議員　子供手当の減額の理由は。

健康福祉課長　制度の変更に伴うものです。

議員　予防接種の接種率は。

国保健康担当主幹　子宮頸ガンが90％、小児肺炎ワクチンとヒブワクチンは25～30％、高齢者肺炎球菌で28％です。

幸治正雄議員　農業集落排水特別事業への繰り出し金が減額だが。

生活環境担当主幹　合併浄化槽の設置が増え、国・県の補助金が増額したためです。

議員　住宅耐震診断の費用が減額だが。

地域振興課長　診断、改修に至った件数が少なかったためです。

今関澄男議員　利用交付金の増について。

企画財政担当主幹　ゴルフ場利用の実績増によるものです。

議員　地方交付税が増額になっているが町債の繰り上げ償還は。

主幹　利率の関係で繰上げ償還はメリットなしの判断です。

議員　定住促進の委託料減額は。

主幹　定住促進計画策定が見送られたためです。

議員　無線共聴施設の減額は。

主幹　入札と業者の計算ミスによる減額です。

議員　有害鳥獣に関係する補助金減額と補助条件の緩和は。

生活環境担当主幹　入札差額によるものです。また、採択基準の緩和は、国・県に要望します。

荻野新衛議員　防災無線は今後どうするつもりか。

総務課長　デジタル化を見据えて、当面併用で進めます。

議員　放送に係わる宿直者の対応は。

課長　操作性は変わりません。

議員　緊急事態での消防や警察との連絡は。

課長　警察との連絡は無線を一台設置します。消防は県の防災無線の活用を図ります。

町防災訓練

幸治正雄議員　妙楽寺の一部で試験電波による受信障害があったと聞くが。

企画財政担当主幹　送信塔からの試験電波が、弱い受信電波を邪魔して映像が写らなくなったものです。機械の故障ではないので正常電波の発信で問題は解消する見込みです。

議員　NHKの対応は。

主幹　NHKアイテックが原因を見つけ、周辺の方にも説明しました。

議員　費用負担は。

主幹　NHKアイテックと業者で話を進めています。

（議案第14号）
平成23年度睦沢町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

933万9千円を追加し、補正後の予算額は10億417万5千円となりました。

質　疑

市原時夫議員　一般保険給付費が伸びたのはどうしてか。

国保健康担当主幹　診療件数の大幅な増加と、調剤費の薬剤費用が多くなっています。

議員　費用を抑えるためにジェネリックのアピールも必要ではないか。

主幹　すべての薬品にあるわけではありませんが、この点を進めていって医療費を下げたいと思います。

（議案第15号）
平成23年度睦沢町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）

200万3千円を減額し、補正後の予算額は7千596万1千円となりました。

質　疑

市原時夫議員　特定地域排水処理事業と一般会計の合併処理浄化槽の合計数は。

生活環境担当主幹　当初予定から6基増の26基となりました。

議員　新築が増えたのか。

主幹　新築の外、単独浄化槽、くみ取りからの切り替えです。

（議案第16号）
平成23年度睦沢町介護保険特別会計補正予算（第3号）

2千308万6千円を減額し、補正後の予算額は6億3千388万2千円となりました。

ジェネリック医薬品希望カード

質　疑

市原時夫議員　保険給付費は当初見込みよりマイナスの補正をしている。次期計画も保険給付費がマイナスになるという疑問が出るが。

健康福祉課長　施設サービス給付費の予測を超える伸びがありました。

（議案第17号）
平成23年度かずさ有機センター特別会計補正予算（第1号）

420万2千円を追加し、補正後の予算は2千309万9千円となりました。

（議案第18号）
平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

75万5千円を減額し、補正後の予算額は7千299万9千円となりました。

歳入は広域連合で決定した保険料収入の減額と保険基盤安定繰入金の増額、人間ドック補助交付金の追加です。

歳出は保険料と保険基盤安定分の精算分を合わせての減額と一般会計操出金の追加です。

質　疑

市原時夫議員　保険料は補正だけでなく、前年度対比でも減っているが。

健康福祉課長　保険料は広域連合で示された数字を使っています。また、低所得者が増えた事も要因ではないかと思います。

（議案第25号）
固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。

住所　睦沢町下之郷
　　1911番地
氏名　御園生　武男氏

（議案第26号）
固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。

住所　睦沢町大上
　　3383番地17
氏名　佐藤　勝善氏

（議案第27号）
教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、次の方の任命に同意しました。

住所　睦沢町上市場
　　911番地
氏名　仁茂田　正氏

閉会中の継続調査

次の2常任委員会が議会閉会中に所管の事務について継続調査を行うことが決まりました。

産業建設常任委員会
教育民生常任委員会

一般質問

田邉 明佳 議員

男女共同参画法の立場で町幹部職員への女性の積極登用を

町長　研究し改めます

町政の課題を問う

町第二次総合計画にも男女共同参画の推進を掲げているが町として、政治の世界へ女性の進出に対する取り組みはどう進めてきたのか。

また行政に従事する一般職の職員で幹部職員の男女比率は。

町長　幹部職員のうち女性職員は課長及び主幹が13名のうち1名です。

経験、意欲、実績等を総合的に勘案し、男女問わず登用していきたいと思います。

ダイコンの花

議員　成果がそれほど見られていないのではないか。また、幹部でない一般職の男女比率は。

町長　成果が上がっていないとのことですが、これから研究して改めて参りたいと思います。

総務課長　比率は大体50％と思います。

健康福祉課

女性が活躍できる町を

推進に努力します

議員　やみくもに女性を増やせとは言わないが、幹部職員が1名というのは基本法に反しているといえる。女性が多く活躍できると言うことは女性や子供に対して優しい町でもあると言える。これからの町の取り組みに期待します。

総務課長　努力します。よろしくご指導お願いします。

一般質問

市原 時夫 議員

国保税引き下げは可能 町民の暮らし直視を

町長　現在の税率で

東日本大震災から一年、住民合意の復興と原発ゼロ社会に向けて、これまでの構造改革路線からの転換の意味でも国保税の引き下げは切実だ。

町のアンケートでも増税がくらしを破壊している実態が明らかだ。この認識があるのか。

町長　国保税に対する意見も多くあることを承知していますが、運営を維持するため現在の税率で進めます。

議員　国保税等が高すぎるとの声は、住民の国保税下げての要望としても町に出されている。

最大の原因は国が負担率を減らしたことだ。

また、町は平成17年度に値上げを行い、国保会計の黒字が続き、基金は869万9千円だったのが、平成22年度には1億2千万円にもなった。1世帯2万円引き下げで、2千670万円程度だ。

基金活用、一般会計からの繰り入れ、県の財源措置の復活、国の負担率を戻すことなど総合的な財源策をとり、引き下げるべきだ。

町長　国・県への要望は引き続き行います。

議員　一宮町、長生村、白子町でも国保税を引き下げた。

睦沢町は一般会計基金一人当たりは郡市で一番多い。県内で一般会計繰り入れをしていない自治体は54市町村中12市町だけだ。

国保税納入率は県内3番目に高い、こうした住民の努力に応え、引き下げるべきだ。

町長　町の特性として納得できる形があればそうしたいと思いますが。

ハナニラの花

自然エネルギー活用の町を

見直し中

議員　関東への大地震の危険性が強まっている。津波予測と対策、長生病院との連携、自然エネルギー活用の本格的取り組みはどうなっているか。

町長　防災計画の見直しの中で、津波予測、避難場所の見直しも進めています。

長生病院との協議を進めます。

自然エネルギー活用も検討します。

地上設置の太陽光パネル

乗り合いタクシーで睦沢町の弱点克服を

今後検討

議員　一宮町、東金市など近隣でも乗り合いタクシー制度導入が始まっている。

町の住民調査でも住み続けたいが84・3％と高いが、住みたくない理由の一位は交通の便が悪いとなっている。

高齢者だけでなく、職場への足の確保の意味でも、乗り合いタクシーが注目されている。

若者定住、子育て支援の町をアピールする意味でも実施すべきでは。

町長　今後検討します。

一般質問

幸治 孝明 議員

むつみニュータウン 道路の安全対策を

町長　区画線・標識の清掃を要望します

道路整備の要望に対し、町道の整備補修が行われてきた。

下之郷野中線がほぼ完成を見たが、これまでの経過は。

町長　河須ヶ谷・小滝地区から要望書の提出があり、国と県の採択を受け事業実施をしております。

議員　歩道設置の基準は。

町長　道路構造令により地区・交通量等により、車いすと人がすれ違える幅として2.5m片側設置としました。

議員　下之郷野中線が通過するむつみニュータウン内の安全対策について。

町長　団地内は30kmの速度制限があり、かつて上市場区より、「でこぼこ」の設置要望がありました。茂原警察署との協議でメイン道路のため難しいとのことでした。

区画線の引きなおし、センタードットラインの設置を考えております。また、道路標識の付けかえと清掃を要望していきます。

議員　むつみニュータウン内交差点道路工事の結果、道路に段差がつき車両走行時に不安があるが。

町長　道路高低差は、暗渠から開渠へ改修した結果、横断勾配が十分に確保できなかったことによるものです。

今後は、交差点内は徐行が原則なので、交差点中心部に十字マークと路面に減速マークを設置します。

議員　乗用車でも40kmで車がはねるので、交差点だから徐行が当然というのではなく、様子を見て必要があれば考えてもらいたい。

町長　対応を考えます。

むつみニュータウン内

傷みがでている農道（川瀬橋付近）

護岸工事による農道の損傷対応は

県による改修を予定

議員　川島川瀬橋下流護岸工事のため農道の傷みが出ているが、対応は。

町長　一宮川から瑞沢川合流点まで全面的に改修するもので現在の川幅を2倍にします。

その工事による土砂が発生し、それを搬出するために運搬路が損傷したものです。県から路面損傷の際は早急に対応するとの回答を得ており後日、県において改修を行うことになっています。

一般質問

荻野 新衛 議員

火災における情報伝達の正確・迅速化を

町長　消防本部と協議のうえ再発防止を申し入れる

1月14日未明寺崎堆肥センター付近で林野火災と放送されたが、実際は夫婦堰近くの住宅火災であった。なぜあのような放送がされたのか。

町長　役場には、消防本部より3か所の林野火災との連絡がありました。

短時間のうちで大変緊迫した状況であったと聞いており、本部への現場からの建物火災の連絡はされましたが、立て続けに3件の発生で指令職員が対応に追われ役場に連絡することができなかったようです。

消防本部と協議のうえ、再発防止の申し入れをします。

議員　災害時情報の伝達は非常に大事なことと思う。これから対応ということだが本部への申し入れは即対応すべきだったと思うが。

町長　そういう形で進んでいきます。

NHK難視対策補助申請は

財源確保に努力します

議員　難視対策のNHKからの補助申請についてランニングコストもかかる。100％の補助を目標としていただきたいが締め切りが3月末ということだが状況について。

町長　昨年の11月に対象地区の区長さんに申請書の配布と回収をお願いしました。

現在3分の1程度提出されておりますが、全ての世帯が区に所属している訳ではないので町として個別に対応し財源確保に努力していく所存です。

教育委員長及び農業委員会会長の議会出席を

沿う形で進めたいと考えます

議員　教育委員会の教育委員長、農業委員会の会長は本来議会に出席する義務があると思うがなぜ出席しないのか。

教育長　出席義務が規定されていますが、事案によって色々考えなければいけないことと思います。地方教育行政法の中で、教育長は、教育委員会の指揮監督のもとに委員会の全ての事務を司るというように規定されていますので議会の出席は私と担当課長で現在行なっています。

農業委員会事務局長　出席義務が課せられていますが、職員は会長の指揮を受け事務に従事するとなっておりますので私が議会において説明をしています。

議員　基本的には出なくてはいけないが、教育法の中で委任を受けているということだが、今までの流れでなく発想の転換、イノベーションが必要と思うが、町長はどう考えるのか。

町長　指摘の点についてよく分かりますので、それに沿う形で進んで行きたいと考えます。

教育長　町長の答弁の方向を受け止め委員会の中で十分協議します。

地デジ受信アンテナ

町の歴史・文化財紹介

むつざわまちの関東大震災

1923（大正12）年9月1日午前11時58分、神奈川県西部を震源とするマグニチュード7.9の大地震が発生しました。館山市相浜では、9.3メートルの津波も観測しています。千葉県では震災全体の住宅被害総数12万5千棟余のうち約2万棟、死者総数10万5千余人のうち1千346人の犠牲者を出しました。この数は東京・神奈川の2府県に次ぐ3番目の甚大な被害でした。

睦沢での被害としても、瑞沢地区では男2名女1名が東京で被災して死亡しました。瑞沢地区内での人的被害と倒壊はないものの、家屋の傾斜や壁の崩落や家具類が破損した家が多く、年内に復旧した家はまれだったといいます。

資料館に『大正十二年度学校日誌』と題された1923年度の土睦尋常高等小学校の日誌が残されています（写真1）。戦前の公文書は、太平洋戦争敗戦のときに国の命令で焼却されたり、戦後の町村合併で廃棄されたりして、全国的に数が少ないものです。

しかし旧睦沢村保管の公文書は奇跡的に焼却や破棄をまぬがれ、『睦沢村史』（1977年刊）のために村史編さん室に、次いで資料館に移管されて貴重な文化財になりました。この史料の9月1日（土曜日）の頁に、「正午大地震アリ被害甚大」との記述があります（写真2）。これは関東大震災のことを記したもので、土睦尋常高等小学校でも被害が出たのでしょう。

（写真1）大正十二年度学校日誌

文化財審議会委員で郷土史に詳しかった故松崎利夫氏（佐貫地区）は、関東大震災を経験しました。「旧制大多喜中学の生徒だったとき、掃除が終わって班長が職員室に掃除の終わりを報告に行ったとき地震が来ました。職員室では逃げだす先生や腰を抜かす先生がいました。校舎の壁は落ち、瓢箪池の水が大きく揺れていました。

大多喜の町では道沿いの家の屋根瓦が落ち、道に瓦が重なっていました。帰りに、駒返しのトンネルが無事か不安だったので全速力で駆け抜けました」と語りました。

土睦尋常高等小学校では、この後、9月3日（月）に「震災ノ為臨時戸外授業、職員全部出勤」とあり、4日から8日まで「前日ニ同ジ」が続き、15日には避難してきた「罹災児童三名入学アッタ男一女二」との記述があり、10月15日の職員会では御見舞い金と震災以後の教育をいかにすべきかが話し合われました。

（写真2）大正十二年度学校日誌
9月1日記事欄

この史料は、企画展「睦沢町の大正時代」で展示されています。

睦沢町立歴史民俗資料館
学芸員　久野一郎

議会を傍聴しませんか

第2回（6月）定例会は
6月15日（金）から
開催の予定です。

詳しくは、
議会事務局　44-2510へ
お問い合せください。

編集後記

つい先日、梅の開花が遅れ桜と一緒に咲いたニュースが流れ、寒かった冬が長く名残をとどめました。

時が巡り、ようやく、こいのぼりが空を泳ぎ、田んぼに緑の苗が生え揃う時期となりました。やっと季節が暦に追いついたのでしょうか。

7年ぶりに議会に復帰し、今浦島ですが、議会関係の取り決めが印刷物として整備された感がしました。その中に「議会だより編集の手引き」があります。30年以上前の創刊時の記載がありました。

町民に対し「ガラス張りの議会に」との思いが議員間で意思統一され発行に至ったとあります。

議会の内容が少しでも多く届くよう願いながら編集に取り組んでいます。

T・K